

施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
主要施策名	6	生涯スポーツ
5年後の まちの姿	〇年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず多くの市民が生活の中でスポーツに親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。	
施策展開の 基本的な考え方	行政は、身近な活動場所となる体育施設等の適切な管理、活動団体に対する支援、スポーツを見て楽しむ機会の創出等によって、市民が生涯スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりと交流の促進を進めます。 市民等は、体育施設等の利用・観戦マナーを守りながら、自身の健康・体力の状態に見合った運動・観戦・ボランティア等を通じて多様なスポーツ活動を定期的・持続的に実施するとともに、活動の輪を広げるよう努めます。	
実現に向けた 取組	①習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供 ②施設の適切な維持管理と利用促進 ③スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化	
施策担当課	生涯学習課	
施策関係課・係	-	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	169,549	271,750			
事務事業数	15	14			
うち、事務事業評価対象	13	13			

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民の割合（アンケート調査）	%	男 21.1 女 17.9	未把握	男 41 女 36				男 26.9 女 21.0
ぶれすぼ胎内（トレーニングルーム）の延べ利用者数〔年間〕	人	12,779	15,392	17,811				18,000
スポーツ・ツーリズムイベント参加者数〔年間〕	人	148	679	1,379				1,000
成果指標による 現状分析	1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民の割合（アンケート調査）については、定期的な運動がストレス解消や健康維持に有効であるという認識が定着してきている。 ぶれすぼ胎内（トレーニングルーム）の延べ利用者数〔年間〕については、健康の維持・向上への高まりから令和4年度と比べ2,419人（15.7%）上回る利用者数となった。 スポーツ・ツーリズムイベント参加者数〔年間〕については、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類から5類へと移行して、行動制限が大きく緩和されたことから参加者数が多くなった。							

3 施策の進捗状況

達成度	〇概ね順調
評価の理由	◆ぶれすぼ胎内のアリーナ、トレーニングルーム、ランニングレーンの利用者数については、昨年を上回る利用者数となり、フィットネス愛好者の需要に応え、健康維持を支援している。◆魅力的なスポーツイベントを行うことで、観光客を集め、地域の魅力が全体的に向上し、多くの訪問者を引き寄せることができた。

4 取組の状況と今後の方向性

① 習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブやその他の活動団体と連携し、医療・福祉分野の取組を巻き込んで、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず参加しやすくなるようなプログラムの提供に取り組みます。 ・子どもがスポーツに触れるきっかけや体力向上、社会性を培う貴重な場となっているスポーツ少年団・スポーツ教室の活性化に向けて、指導者の育成や負担軽減、親子で参加できるプログラムの提供等に取り組みます。 ・砂浜、登山道、河川堤防等で、自然に親しみながら健康・体力づくりにもつながる運動ができるような環境整備を検討します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆平成31年4月から、ぶれすぼ胎内を始めとした社会体育施設をNPO法人スポーツクラブたいないが指定管理者として管理し、市民と身近な存在として業務を実施しており、好評を得ている。 ◆スポーツを身近に感じることができるイベントとして毎年開催してきた、たいないスポーツフェスティバルを変更し、年齢や性別等にかかわらず参加できるスポーツ体験フェスタを開催した。 ◆実行委員会形式で行われたイベントに対し、補助金などにより開催支援を行った。(たいない高原マラソン) ◆自然景観に触れるスポーツイベントの開催や開催協力を行った。(ウォーキング、カヌー、ツールド胎内(サイクリング))
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツを手段とした医療費抑制への期待感が高まっているが、特にスポーツ実施率が低いビジネスパーソンや子育て世代を対象としたスポーツに触れる機会の提供は、今後更に力を入れて取り組むべきことであり、関係団体と連携等を図りたい。◆市民のスポーツ実施率が平成29年度調査で35%であり、国の51.5%と比較して低いため、特に無関心層や女性及びビジネスパーソンへの具体的なプログラムにより改善に努めたい。◆障がい者と健常者が一緒にできるパラスポーツを、より身近なものにするため市民向けの体験会を実施していきたい。 ◆親子で参加できる取り組みや休日でも参加しやすいスポーツの普及により、子どもがスポーツに触れる機会の提供を進めたい。

② 施設の適切な維持管理と利用促進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・各施設については、体育施設としての利用状況や市民の利便性に加えて、防災機能等を総合的に評価し、廃止を含めて今後の利用計画を検討します。 ・管理運営や利用促進に民間のノウハウや資金、人材を積極的に活用して、施設の有効活用を図ります。 ・ぶれすぼ胎内、総合グラウンド、リバーサイドパーク等の拠点施設が集積するエリアを健康・体力づくりの拠点と位置付け、障がいのある人を含めた多様な市民が利用しやすい環境づくりをソフト、ハードの両面から検討します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆黒川体育館を、解体を実施した(R4)。 ◆NPO法人スポーツクラブたいないを指定管理者に、ぶれすぼ胎内など全14施設を指定管理施設としている。(指定期間令和11年3月まで) ◆ぶれすぼ胎内のトレーニングルームやランニングレーンの利用人数が増加しており、個人が気軽にスポーツ・運動に取り組もうとする機運が高まっている。◆胎内市スポーツ施設長寿化計画を令和6年3月に策定した。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆老朽化している旧小学校体育館やサンビレッジ中条、レクホールについて、順次修繕を行う必要がある。◆黒川地区で地域スポーツ施設を廃止とした場合、社会体育施設が不足し、市民の利用に影響が出る可能性があるため既存施設の改修や計画的な利用方法を検討する必要がある。 ◆令和6年3月に策定した胎内市スポーツ施設長寿化計画に基づき、効果的かつ効率的に施設の延命化、中長期的な改修・更新を進めていく。

③ スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市内外のスポーツ団体、選手等との交流を通じて、競技者だけでなく一般市民も観戦・応援やボランティア等でスポーツの魅力に触れる機会を創出します。 ・レベルの高い競技を見る、専門家から指導を受ける等により、トップアスリートを目指すきっかけづくりや市民のスポーツ活動に触れる機会の増大を図ります。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆実行委員会形式で行われたイベントに対し、補助金などにより開催支援を行った。(たいない高原マラソン) ◆スポーツの魅力に触れる事業を実施した。(アルビレックスサッカー試合観戦、プロ野球0Bによる少年少女野球教室、胎内DEERS(アメリカンフットボール)試合観戦、胎内DEERS(フラッグフットボール)体験) ◆トップアスリートの指導を受ける事業を行った。(プロ野球0Bによる少年少女野球教室、胎内DEERS(フラッグフットボール)体験)
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆たいない高原マラソンなどで、スポーツボランティアの必要性が増している。スポーツボランティアとしてスポーツの魅力に触れ、スポーツを身近に感じることができる機会の創出に努めたい。 ◆少子化や多様な社会の在り方によりスポーツ競技人口が減少してきており、各団体においては人数確保に苦慮している。そこで、各競技のトップアスリートを招いてのクリニック開催や講演会を開催することにより、各種競技への関心を高めていくとともに競技人口の増加を図り、スポーツの楽しさを見つけてもらう。

5 施策の今後の方針

<p>施策方針</p>	<p>○維持</p>
<p>施策方針に関する説明</p>	<p>◆医療・福祉分野を巻き込んで、年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず参加したくなるようなプログラムを検討していく。◆各種競技への関心を高めるために、子どもだけでなく大人でも興味を持てるようなスポーツ体験教室等を開催し、スポーツ人口の増加に努める。◆アメリカンフットボールなど、各種スポーツを通じて、市民が心身ともに健康で豊かな生活を送ることのできる社会を創造する。◆胎内市スポーツ施設長寿化計画に沿って、中長期的な改修・更新等を進めていく。</p>

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R5		R6		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
160111	スポーツバス運行事業	3,283	3,283	5,042	5,042	◎	③	生涯学習課
160112	育てるスポーツ事業	1,402	1,372	1,601	1,601	○	②	生涯学習課
160210	総合グラウンド管理事業	7,617	7,617	79,100	43,268	○	③	生涯学習課
160211	地域スポーツ施設管理事業	1,289	1,289	620	616	◎	⑥	生涯学習課
160213	サンビレッジ中条管理事業	42	42	48,244	4,944	◎	③	生涯学習課
160214	黒川多目的広場管理事業	205	205	283	282	-	③	生涯学習課
160215	山村広場管理事業	5,731	5,651	9,192	9,115	×	⑥	生涯学習課
160216	B & G海洋センター管理事業	143,958	38,817	1,504	1,462	△	②	生涯学習課
160217	胎内ライフル射撃場管理事業	5,234	4,885	5,528	5,270	△	⑤	生涯学習課
160218	総合体育館管理事業	83,678	73,625	98,282	88,838	○	②	生涯学習課
160220	胎内レクホール管理事業	1,075	915	2,133	2,013	◎	③	生涯学習課
160310	競うスポーツ事業	4,787	4,787	4,595	4,595	◎	③	生涯学習課
160311	する・みるスポーツ事業	2,136	2,136	2,606	2,438	◎	②	生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160111		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者	
事務事業名	スポーツバス運行事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	予算科目 項目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ	中	01	習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供		07	保健体育費
			小	11	スポーツバス運行事業		01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	スポーツ基本法		関連計画	
	法令による義務付け			関連例規			胎内市スポーツ推進計画	
	自治事務							
	任意							

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	各種スポーツ大会の参加に伴う移動の支援としてスポーツバスを運行する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツバス2台の運行 ・スポーツバス2台の法定点検 ・スポーツ推進以外の教育委員会及び他課の事業支援
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない プール授業や少年自然の家のカヌー教室での運行も増え、各事業の運営に貢献した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 事業継続
[R5] 事業継続

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	3,100	3,283	5,042		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	0		
一般財源	3,100	3,283	5,042	0	0
人件費（千円）	562	562	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費 任用(h) 業務費	600	600	0	0	0
総事業費+人件費	3,662	3,845	5,042	0	0
財源「その他」内訳	事業費の主な支出内容 運転業務委託 1,992千円、燃料費 1,287千円、修繕費 707千円				
算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	1,140円	1,033円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	バスの運転業務委託に市民協働の余地がないため。

7 事業の課題

申請件数が年々増加しており、特に6月7月は利用者が多いことから要望に応えることが難しい。
--

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	年間運行回数	年間運行回数	年間運行回数	年間運行回数	
	目標	170回	170回	170回	170回	
	実績	158回	197回			
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	
	目標	3,400人	3,400人	3,400人	3,400人	
	実績	3,102人	4,880人			
	目標比	91.2%	143.5%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
事業委託先のNPO法人スポーツクラブたいないと連携し、滞りなく運営できるよう努める。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160112		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	育てるスポーツ事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ	中	01	習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供		項	07	保健体育費
			小	12	育てるスポーツ事業		目	01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	スポーツ基本法			
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連例規		関連計画	胎内市スポーツ推進計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	乳幼児期から学童・思春期にかけてスポーツに親しむ環境づくりを推進し、生涯にわたる運動習慣の基礎を築く。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興補助金交付（スポーツ少年団活動への補助（スポーツクラブたいたい）） ・親子イベントの開催（チャレンジスポーツ夏、少年少女スキー教室（R5は少雪のため中止）） ・スポーツクラブたいたいへの事業委託（キッズスポーツ教室（単発契約））
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	1,594	1,402	1,601			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	0	0	0			
その他	0	30	0			
一般財源	1,594	1,372	1,601	0	0	
人件費（千円）	937	937	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※委託年度 ※任用(h) ※業務費	1,000	1,000	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	2,531	2,339	1,601	0	0	
財源「その他」内訳	全国少年少女野球教室運営委託費 30千円					
事業費の主な支出内容	胎内市スポーツ振興補助金 1,020千円、報償費 130千円					
単位コスト	算出方法	補助金を除く事業費/運動に親しむ事業回数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		7,150円	8,300円			

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	
	目標	1件	1件	1件	1件	
	実績	1回	1回			
成果指標	名称	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	
	目標	8回	8回	8回	8回	
	実績	8回	7回			
	目標比	100%	87.5%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	○			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ・「NPO法人スポーツクラブたいたい」に一部事業を委託し、幼児向けの運動教室等を開催した。 ・小雪によりスキー教室が開催できなかったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 事業継続
[R5] マリンスポーツ教室、スキー教室などを開催

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	各種教室の開催は委託によるものであるため。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団活動においては、少子化が進む中でも団への加入率を高める必要がある。 ・子どもたちのスポーツ離れが進んでいる。 ・部活動地域移行に伴い、指導者不足が懸念される。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②			
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行に伴い、地域住民、保護者、中学校、市教育委員会と連携を図り、子どもたちの育成に取り組んでいく。 ・小学生以下のジュニア期においては、気軽に運動できる場を提供するとともに、運動をすることによる脳の活性化や怪我予防など、生涯スポーツにつながっていくような事業を展開していく。 ・地域のスポーツ団体にお声かけし、各競技において指導者不足とならないよう努めていく。 ・子どもが主体的に運動に関わることのできる機会を提供し、良好なスポーツ・運動習慣の確立のために継続した事業とする。 					

9 二次評価委員会所見

産出指標及び成果指標の見直しを行うこと。

今後の方向性		④	②	①
成果の方向性	拡充	×	×	×
	維持	×	×	×
	縮小	×	×	×
	休廃止	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160210		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者	
事務事業名	総合グラウンド管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	予算科目 項目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ	中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		07	保健体育費
			小	10	総合グラウンド管理事業		02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画/胎内市公共施設等総合管理計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により、陸上競技場、体育館、野球場、テニスコート、の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。 (指定管理期間：2019年度～2023年度)
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 第2期指定管理期間（H31～R5） 陸上競技場写真判定機保守点検委託 総合グラウンド水中ポンプ取替工事 総合グラウンド高圧区分開閉器更新工事 陸上競技場写真判定機BOX設置工事
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○			
評価の理由	陸上競技会や学校部活動、グラウンドゴルフなど、広く利用されている。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R5]	<ul style="list-style-type: none"> 総合グラウンド水中ポンプ取替工事517千円 総合グラウンド高圧区分開閉器更新工事895千円 陸上競技場写真判定機BOX設置工事1,297千円
------	--

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	5,735	7,617	79,100		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	1,885	0	35,832		
一般財源	3,850	7,617	43,268	0	0
人件費（千円）	375	375	0	0	0
正(h) ※事業費 ※任用(h) ※事業費	400	400	0	0	0
委託年度 任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	6,110	7,992	79,100	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	<ul style="list-style-type: none"> 写真判定機保守委託323千円、総合グラウンド水中ポンプ取替工事517千円、総合グラウンド高圧区分開閉器更新工事895千円、陸上競技場写真判定機BOX設置工事1,297千円 				
単位コスト	算出方法 一般財源(人件費を除く) / 利用人数 ・指定管理料は総合体育館で計上				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	116円	245円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

陸上競技場スタンドの雨漏りにより、床が滑りやすくなり、安全面・衛生面においても支障が出ている。長寿命化計画に基づき、適正かつ計画的に補修していく必要がある。
--

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	357日	357日	358日	357日
	実績	357日	357日		
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	40,000人	40,000人	40,000人	40,000人
	実績	38,667人	39,848人		
	目標比	96.7%	99.6%		

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	③	③			
	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度より指定管理を更新し、市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。 R5、R6とTAINAI DEERSの試合が行われ、R6においてはかなりの集客があった。施設的美観からも、スタンドの雨漏りを補修する必要がある。 				

9 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見				
-----------	--	--	--	--

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160211		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者	
事務事業名	地域スポーツ施設管理事業		事業年度	令和5年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	予算科目 款 項 目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ	中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		07	保健体育費
			小	11	地域スポーツ施設管理事業		02	体育施設費
事務区分	法定受託事務	自治事務	○	根拠法令	関連法規			胎内市社会体育施設条例
	法令による義務付け	任意		関連例規	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画	関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により、地域スポーツ施設(築地、竹島、高浜、本条、柴橋)の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。 (指定管理期間：2019年度～2023年度)
主な実施内容	・指定管理者制度により施設管理を実施（NPO法人スポーツクラブではない） ・旧乙地域スポーツ施設の土地賃借
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ・中学校部活動での利用がある本条地域スポーツ施設は、他の地域スポーツ施設に比べ利用が多い。 ・近年グラウンドゴルフ人気が高まっており、競技者も年々増加している。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

定期的な清掃や照明の交換など、利用者にとって快適な施設となるよう管理運営を行った。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	670	1,289	620		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	4		
一般財源	670	1,289	616	0	0
人件費（千円）	187	187	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費 任用(h) 業務費	○ 200	200	0	0	0
総事業費+人件費	857	1,476	620	0	0
財源「その他」内訳	除草作業委託料722千円、火災保険料153千円				
事業費の主な支出内容	除草作業委託料722千円、火災保険料153千円				
算出方法	一般財源(人件費を除く)／利用人数 ・指定管理料は総合体育館で計上				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	35円	75円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

築地地域スポーツ施設は雨漏りがしてきている状況。老朽化が進んでいるが、大規模改修等は行わないこととし、保有する施設を選定していく必要がある。今後、各地域スポーツ施設が老朽化により廃止になれば、施設不足になることが想定される。本条以外の施設においては、費用対効果を考えると、安全面を考慮し、閉鎖し、解体するのが望ましい。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	地域スポーツ施設数(屋内運動場)	地域スポーツ施設数(屋内運動場)	地域スポーツ施設数(屋内運動場)	地域スポーツ施設数(屋内運動場)
	目標	5か所	5か所	5か所	5か所
	実績	5か所	4か所		
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人
	実績	15,516人	14,455人		
	目標比	141.1%	131.4%		

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	③	⑥			
閉鎖、解体に向けて、現在利用中の方々は代替場所を案内している。新耐震基準を満たしている本条地域スポーツ施設以外(築地、竹島、柴橋)を閉鎖・解体に向け各機関と調整を図る。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	◎	④	②	①
	維持	◎	⑤	③	◎
	縮小	◎	⑥	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎	◎
	削減	◎	◎	◎	◎
コスト投入の方向性	削減	縮小	維持	拡大	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160213		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者	
事務事業名	サンビレッジ中条管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	予算科目 款 項 目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ	中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		07	保健体育費
			小	13	サンビレッジ体育館管理事業		02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	胎内市社会体育施設条例	関連計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により、サンビレッジ中条の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。 (指定管理期間：2019年度～2023年度)
主な実施内容	・サンビレッジ中条の維持・管理 ・利用者への貸し出し等業務 (業務委託先/NPO法人スポーツクラブたいたい)
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	高台に立地されているため「交通に不便だ」という意見もあるが、定期利用団体等に利用されている。 開志国際高等学校の体育授業と部活動での利用が多かった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を導入し、効果的・効率的な管理運営を目指しつつ、スポーツ推進の拠点施設として、より市民にとって身近な施設となるよう取り組んでいる。
--

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	34	42	48,244		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	43,300		
その他	0	0	0		
一般財源	34	42	4,944	0	0
人件費（千円）	94	94	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費	○	100	100	0	0
委託年度 任用(h) 業務費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	128	136	48,244	0	0
財源「その他」内訳	火災保険料42千円				
事業費の主な支出内容	火災保険料42千円				
算出方法	一般財源(人件費を除く) / 利用人数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	2円	2円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

平成11年の開設以来20年以上が経過してきており、雨漏りがひどく、腐食した天井の落下やランニングレーンの一部利用不可など、老朽化の影響が激しくなっており、利用者から再三にわたりクレームが寄せられている。雨漏りが激しく、床が滑りやすく非常に危険な状態である。このため、ブルーシートを張り応急処置をしている。
--

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	357日	357日	358日	357日
	実績	357日	357日		
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	16,000人	16,000人	16,000人	16,000人
	実績	17,064人	17,478人		
	目標比	106.7%	109.2%		

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	③	③			
	令和6年度に、雨漏り対策として屋根のカバーリング工事を行う。				

9 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160214		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者	
事務事業名	黒川多目的広場管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	予算科目 項目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ	中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		07	保健体育費
			小	14	黒川多目的広場管理事業		02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	胎内市社会体育施設条例	関連計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	令和3年度にて利用廃止。 令和4年度に解体実施
主な実施内容	・黒川多目的広場（直営） ・利用者へ貸し出し等事務
実施方法	市が直接実施＋委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	-	-			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 事業の目的が不確定なため評価は行わない。 なお、指標の実績は、ゲートボールでの利用による。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 黒川体育館解体

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	427	205	283		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	1		
一般財源	427	205	282	0	0
人件費（千円）	131	0	0	0	0
正（h）※事業費 ※委託年度 ※任用（h）※業務費	140	0	0	0	0
総事業費＋人件費	558	205	283	0	0
財源「その他」内訳	除草作業等委託料 140千円 光熱水費 61千円				
事業費の主な支出内容					
単位コスト					
算出方法					
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	黒川体育館はR3年度で施設を廃止し、黒川多目的広場は黒川中町へ管理委託している。

7 事業の課題

黒川体育館施設解体に伴い、跡地の管理や利活用方法の検討。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	0日	0日	0日	0日
	実績	0日	18日		
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	0人	0人	0人	0人
	実績	0人	105人		
	目標比	-	-		

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	⑦	③			
・体育館跡地を有効に活用するために、必要に応じて他課とも適切に協議していく。 ・事業の目的や施設の方向性などを、早急に決定する必要がある。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160215	
事務事業名	山村広場管理事業	
担当課	生涯学習課	担当係
事業年度	令和5年度	担当係
基本政策	1 子育て・教育・学び	会計区分
主要施策	6 生涯スポーツ	一般会計
事務区分	法定受託事務	自治事務
	法令による義務付け	努力義務+任意
		○ 根拠法令
		関連法規
		胎内市社会体育施設条例
		関連計画
		胎内市スポーツ推進計画/胎内市公共施設等総合管理計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内球場・芝グラウンド・キャンプ場の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	・胎内球場及び芝グラウンドの維持・管理（直営） ・利用者へ貸し出し等業務
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	5,862	5,731	9,192		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	84	80	77		
一般財源	5,778	5,651	9,115	0	0
人件費（千円）	562	562	0	0	0
正(h) ※事業費 ※委任(h) ※業務費	600	600	0	0	0
委託年度 ※委任(h) ※業務費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	6,424	6,293	9,192	0	0
財源「その他」内訳	胎内球場使用料 80千円				
事業費の主な支出内容	管理補助員賃金 1,022千円、光熱水費 2,001千円、				
単位コスト	算出方法 一般財源(人件費を除く) / 利用人数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	2,427円	3,192円			

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	
	目標	200日	200日	200日	200日	
	実績	198日	205日			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	
	実績	1,929人	1,475人			
	目標比	64.3%	49.1%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	×			
評価の理由	・利用者は目標数の50%程度であった。天候による影響、8月の合宿利用も減少傾向にあり目標を下回る結果となった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 事業継続
[R5] 事業継続

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	施設管理運営であるため

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 胎内球場については、施設の老朽化に伴い、今後スコアボードの更新、ナイター照明LED化も必要となることから、維持管理費の増加が見込まれている。 芝グラウンドについては利用がない。また、グラウンドの状態も良くない。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	⑥			
<ul style="list-style-type: none"> 市外団体の利用や市民団体の利用促進に努めていきたい。 胎内球場の利用については、土曜日・日曜日が中心であり日に多くても1~2チームの利用に限定されている。このため平日利用また夏休み期間の合宿利用の拡大を目指し利用促進に努めていきたい。 芝グラウンド（胎内多目的広場）については利用がなく、条例廃止も視野に入れた施設の在り方の検討を行う。 					

9 二次評価委員会所見

--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160216		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者	
事務事業名	B & G 海洋センター管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	予算科目 款 項 目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ	中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		07	保健体育費
			小	16	B & G 海洋センター管理事業		02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連例規	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画/胎内市公共施設等総合管理計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により、B&G体育館、プール、艇庫（指定管理委託外）の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。（指定管理期間：2019年度～2023年度）
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 第2期指定管理期間（H31～R5） B & G 海洋センター艇庫の管理運営 自然体験活動の受入れ（市内小学校、養護学校、専門学校、大学）
実施方法	指定管理+市が直接実施

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,533	143,958	1,504		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	105,100	0		
その他	41	41	42		
一般財源	2,492	38,817	1,462	0	0
人件費（千円）	712	712	0	0	0
正(h) ※事業費 ※専任(h) ※事業費	760	760	0	0	0
0	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	3,245	144,670	1,504	0	0
財源「その他」内訳	土地・建物賃付料 41千円				
事業費の主な支出内容	水上バイク修繕110千円、救助艇修繕83千円、B&G海洋センタープール上屋増築工事管理委託1,540千円、B&G海洋センタープール上屋増築工事144,716千円				
算出方法	一般財源(人件費を除く) / 利用人数 ・指定管理料は総合体育館で計上				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	84円	755円			

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	
	目標	357日	357日	358日	357日	
	実績	357日	357日			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	
	実績	35,355人	19,690人			
	目標比	141.4%	78.7%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	△			
評価の理由	令和5年度は、B&G体育館が会場となる大会等が減少したため目標値に比べ減となった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ふるさと体験学習の実施（市内小学校にB&G艇庫でのカヌー体験） 市内小学校の児童に水辺の事故防止啓発運動 令和4年度：鳥インフルエンザ対策会場（B&G体育館）となり利用者が増加した。
[R5] B&G海洋センタープール上屋増築工事管理委託 1,540千円 B&G海洋センタープール上屋増築工事 144,716千円

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 当艇庫は北陸地区で一番多い利用人数を誇る艇庫であるが、老朽化が進んでおり、トイレ・更衣室・シャワーなどの設備がない。（隣接する県の施設を利用している） B&G体育館において、バスケットゴールはあるが、故障のため使用できない状態となっており、利用者からも修繕要請が多々寄せられている。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②			
<ul style="list-style-type: none"> 艇庫の建替工事、若しくは多機能化工事などが必要である。 B&G体育館バスケットゴールの入替が必要である。 市民の方々が安全に利用できる体育施設として利用方法を検討していく。 令和6年度より第3期指定管理期間（5年間）に入り、これまでの指定管理者及び指定管理施設等を見直し、今まで以上に市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	
--------	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	◎	④	②	①
	維持	◎	⑤	③	◎
	縮小	◎	⑥	◎	◎
	休廃止	◎	⑦	◎	◎
	削減	◎	◎	維持	◎
	縮小	◎	◎	◎	◎
	維持	◎	◎	◎	◎
	拡大	◎	◎	◎	◎
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160217		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者	
事務事業名	胎内ライフル射撃場管理事業		事業年度	令和5年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	款	10	
主要施策	6	生涯スポーツ	中	02	施設の適切な維持管理と利用促進	予算科目	項	07
			小	17	胎内ライフル射撃場管理事業		目	02
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意	関連例規	胎内市新潟県立胎内ライフル射撃場管理及び運営に関する条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	県立胎内ライフル射撃場の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ライフル射撃場の維持・管理 利用者へ貸し出し等利用 チームライフル体験の受入
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	4,004	5,234	5,528		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	290	349	258		
一般財源	3,714	4,885	5,270	0	0
人件費（千円）	478	478	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業 ※事業 任用(h) 業務費	○ 510	510	0	0	0
総事業費+人件費	4,482	5,712	5,528	0	0
財源「その他」内訳	県立胎内ライフル射撃場使用料 349千円				
事業費の主な支出内容	委託料 2,047千円、光熱水費 1,256千円				
算出方法	一般財源(人件費を除く) / 利用人数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	8,085円	7,693円			

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	
	目標	140日	140日	140日	140日	
	実績	120日	118日			
成果指標	名称	ライフル射撃場年間利用者数	ライフル射撃場年間利用者数	ライフル射撃場年間利用者数	ライフル射撃場年間利用者数	
	目標	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	
	実績	442人	564人			
	目標比	40.2%	51.2%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	△			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ・マイナー競技ということもあり競技人口が少ないことに加え、大会の開催も限られている事から利用人数の大幅な増加はあまり期待できない状況である。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4]	<ul style="list-style-type: none"> 条例改正（射撃場の区分を一つにまとめる他、料金体系の変更）
------	---

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	ライフル射撃という公安委員会からの許可が必要な特殊事情があるため

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 大会の開催も北信越大会が主な大会となるが、数年に一度の開催であり、年間を通じた利用人数の拡大は期待できない。 今後の管理運営を含め、県との協議が必要である。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	⑤	⑤			
<ul style="list-style-type: none"> 利用促進については、新潟県、県ライフル協会にも積極的なPR活動をお願いする。 低年齢層の競技人口の拡大を目指し、現在行っている体験会を充実させ利用促進につなげていきたい。 管理運営を含め、県とのコスト削減に向けた協議を行う。 					

9 二次評価委員会所見

<p>（空欄）</p>

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160218	
事務事業名	総合体育館管理事業	担当課 生涯学習課 担当係 スポーツ振興係 担当者
基本政策	1 子育て・教育・学び	事業年度 令和5年度 会計区分 一般会計
主要施策	6 生涯スポーツ	大 16 生涯スポーツ 10 教育費 中 02 施設の適切な維持管理と利用促進 7 保健体育費 小 18 総合体育館管理事業 02 体育施設費
事務区分	法定受託事務 自治事務 ○ 根拠法令 法令による義務付け 任意 関連法規	胎内市社会体育施設条例 関連計画 胎内市スポーツ推進計画/胎内市公共施設等総合管理計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により、総合体育館の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。 (指定管理期間：2019年度～2023年度)
主な実施内容	・指定管理者制度により施設管理を実施（NPO法人スポーツクラブではない） ・モニタリングの実施 ・トレーニング機器等の賃借
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○			
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	・指定管理者制度を導入し、効果的・効率的な管理運営を目指しつつ、スポーツ推進の拠点施設として、より市民にとって身近な施設となるよう努めている。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

スポーツ施設としてだけでなく、災害の際は市内の主要避難所、美術展での展示会場など、様々な市民ニーズに合った施設として活用している。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	91,738	83,678	98,282		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	9,068	10,053	9,444		
一般財源	82,670	73,625	88,838	0	0
人件費（千円）	937	937	0	0	0
正(h) ※事務費 ※委任(h) ※業務費	1,000	1,000	0	0	0
総事業費+人件費	92,675	84,615	98,282	0	0
財源「その他」内訳	社会体育施設光熱水費負担金 10,053千円				
事業費の主な支出内容	社会体育施設運営委託料73,700千円、トレーニング機器等賃借料1,188千円、エアハンドリングユニット中性性能フィルター交換工事1,163千円				
算出方法	一般財源(人件費を除く) / 利用人数(総合体育館全体利用人数)				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	995円	792円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	第2期指定管理期間（～R5年度）指定管理者/NPO法人スポーツクラブではない

7 事業の課題

建築から8年が経過し、今後は補修箇所も出てくるものと思われる。そのため、長寿命化計画に基づき、適正かつ計画的に補修していく必要がある。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	345日	345日	345日	345日
	実績	357日	357日		
成果指標	名称	トレーニングルーム年間利用者数	トレーニングルーム年間利用者数	トレーニングルーム年間利用者数	トレーニングルーム年間利用者数
	目標	21,000人	21,000人	21,000人	21,000人
	実績	15,392人	17,811人		
	目標比	73.3%	84.8%		

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	①	②			
	・指定管理者による自主事業を拡大してもらい、より多くの利用者獲得を目指し、利用促進を図っていく。				

9 二次評価委員会所見

産出指標及び成果指標について、見直しを行うこと。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160220		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者	
事務事業名	胎内レクホール管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	予算科目 項目	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ	中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		07	保健体育費
			小	20	胎内レクホール管理事業		02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	胎内市社会体育施設条例	関連計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内レクホールの効率的な管理運営、効果的な整備を行い、利用者にとって一層利用しやすい施設とし、もって生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	・施設の管理運営
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない コロナウイルスが5類に引き下げられ、各教室の取組が活発になり利用人数が増加した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 事業継続
[R5] 事業継続

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	1,238	1,075	2,133		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	169	160	120		
一般財源	1,069	915	2,013	0	0
人件費（千円）	131	131	0	0	0
正(h) ※事業費 ※委任状 任用(h) 業務	○ 140	140	0	0	0
総事業費+人件費	1,369	1,206	2,133	0	0
財源「その他」内訳	胎内レクホール使用料 160千円				
事業費の主な支出内容	委託料 557千円、光熱水費負担金 732千円				
単位コスト	算出方法 一般財源(人件費を除く) / 利用人数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	350円	690円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	施設管理運営であるため

7 事業の課題

・立地の関係上、冬期間は入口玄関が雪で囲まれてしまうことが多々あり、定期的に除雪作業を行っているが、間に合わない時があるのが現状である。ロイヤル胎内パークホテルと連携し、利用者が安全に利用できるように環境整備を図る必要がある。
・体育施設の施錠方法など防犯対策を強化する必要がある。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	
	目標	357日	357日	358日	357日	
	実績	357日	357日			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	
	実績	3,081名	2,227人			
	目標比	205.4%	148.4%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
オートロック式の施錠方法などを導入し防犯対策を強化する。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160310		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	競うスポーツ事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	予算科目 項目	10	教育費	
主要施策	6	生涯スポーツ	中	03	スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化		07	保健体育費	
			小	10	競うスポーツ事業		01	保健体育総務費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	スポーツ基本法		関連計画	胎内市スポーツ推進計画
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連例規				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	スポーツ参画人口の裾野を広げるとともに、ジュニア選手からの一貫した育成体制の強化等により、全国で活躍するスポーツ選手の輩出を目指す。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会へスポーツ振興補助金を交付する。 ・スポーツ大会出場激励費の交付。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	4,563	4,787	4,595		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	0		
一般財源	4,563	4,787	4,595	0	0
人件費（千円）	562	562	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費 任用(h) 業務	○ 600	600	0	0	0
総事業費+人件費	5,125	5,349	4,595	0	0
財源「その他」内訳	補助金 2,240千円、激励費 2,300千円				
事業費の主な支出内容					
算出方法	スポーツ振興補助金/スポーツ協会会員数				
実績	令和4年度 26352円	令和5年度 4,869円	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付
	目標	1件	1件	1件	1件
	実績	85件	2,240千円		
成果指標	名称	全国大会出場者数(実人数)	全国大会出場者数(実人数)	全国大会出場者数(実人数)	全国大会出場者数(実人数)
	目標	110人	110人	110人	110人
	実績	135名	157人		
	目標比	122.7%	142.7%		

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	R5年度はコロナウイルスが5類に引き下げられて今までよりも大会数が増え、市内在住の選手や市内の学校に在学している選手の活躍が見られた。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

各種スポーツ大会出場選手激励費、胎内市スポーツ振興補助金

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	市が大会等に出場する市民への応援事業であるため

7 事業の課題

全国大会等に出場する選手の活躍をもっと市民に伝え、スポーツ・運動への意識を高めていく必要がある。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
・全国大会等に出場する選手の活躍をSNSや広報に掲載することで、市民に活躍を伝え、スポーツ参画人口の裾野を広げ、将来のアスリートを育む機運の醸成に努めていく。 ・全国大会出場選手を有する開志国際高等学校や新潟食料農業大学と小中学生が接することは、トップアスリートを目指すきっかけづくりや育成をする上で効果的であることから、引き続き取組、SNSや広報に掲載するなどで事業を周知する。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	160311		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係	担当者		
事務事業名	する・みるスポーツ事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
主要施策	6	生涯スポーツ	中	03	スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化		項	07	保健体育費
			小	11	する・みるスポーツ事業		目	01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	スポーツ基本法		関連計画	胎内市スポーツ推進計画	
	法令による義務付け			関連例規					
				努力義務+任意					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	日常生活の中で自分に適した運動やスポーツに親しむ機会の拡充を図り、またスポーツへの関心を高め、スポーツの多様な楽しみ方に触れる機会の拡大を図る。
主な実施内容	するスポーツ ・主に働き盛り世代を対象としたスポーツ大会（委託開催）・イベントの開催（野球、ゴルフ、バレーボール、ソフトバレーボール大会、高齢者運動会の開催、ウォーキングイベント、体験型イベントの開催） ・たいない高原マラソンの開催（スポーツ振興補助金の交付） みるスポーツ ・胎内カップバスケットボールフェスティバルへの開催協力
実施方法	市が直接実施+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ・新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し、当初予定していた事業を実施することができた。スポーツ・ツーリズムイベントとしては楡形ウィンドトレイル、胎内カップ（バスケットボール）、ツールド胎内を実施し（実行委員会含む）、目標値の90%を達成した。 ・ほとんどの予定した事業を実施することができたが、天候の影響で少年少女スキー教室、胎内平ハイキングウォークが実施できずこのような評価となった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4]
 にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業である「にいがたヘルスポウクラリー」の参加周知を市HPで行った。また市内企業宛てに案内文書を送付し周知を図った。
 [R5]
 テラシ配布先の拡大や胎内市の公式LINEでの告知を行い、よりたくさんの市民へ周知を図った。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,225	2,136	2,606		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	168		
一般財源	2,225	2,136	2,438	0	0
人件費（千円）	375	375	0	0	0
正(h) ※事務費 ※委任(h) ※業務費	400	400	0	0	0
委託年度	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	2,600	2,511	2,606	0	0
財源「その他」内訳	補助金 800千円、				
事業費の主な支出内容					
算出方法	スポーツ振興補助金/スポーツツーリズムイベント参加者				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	3,555円	580円			

6 協働の状況

協働の状況	実施・検討中
具体的な状況	スポーツ推進委員と協働でウォーキングイベントを実施しているが、一般の方との協働は検討中。

7 事業の課題

- ・学生ボランティアを起用したイベントを実施・検討する。
- ・イベントの規模拡大を検討する。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数
	目標	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上
	実績	3回	3回		
成果指標	名称	スポーツ・ツーリズムイベント参加人数	スポーツ・ツーリズムイベント参加人数	スポーツ・ツーリズムイベント参加人数	スポーツ・ツーリズムイベント参加人数
	目標	750人	750人	750人	750人
	実績	679人	1,379人		
	目標比	90.5%	183.8%		

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①	②			
	・胎内市の魅力的な自然や食を満喫できるイベントを検討していく。 ・みるスポーツとして、TAINAI DEERSのアメフト観戦ツアーなど、地域の特色を活かしたイベントを企画し、地域スポーツの盛り上げを図る。 ・地域おこし協力隊と連携を図り、小学校や中学校で体育の出前授業を行うなど、市民のスポーツに参加する機会を増やしていく。 ・参加者募集定員の拡大、スタッフの増員などイベント規模拡大を検討する。 ・老若男女が参加できるニュースポーツを絡めたイベントを実施し、市民の健康増進を図る。				

9 二次評価委員会所見

産出指標及び成果指標について、目標値の見直しを行うこと。

今後の方向性		④	②	①
成果の方向性	拡充	◎	◎	◎
	維持	◎	◎	◎
	縮小	◎	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎
	削減	◎	◎	◎
	維持	◎	◎	◎
	拡大	◎	◎	◎
コスト投入の方向性				